

広報 常陸大宮

2019
8
No.179

いきいき茨城ゆめ国体
なぎなた競技茨城県代表

主な内容

- P2～5 いきいき茨城ゆめ国体・大会
- P6～8 常陸大宮大使からのメッセージ
- P10～11 泉坂下遺跡現地説明会
- P12～13 新文化財紹介
- P14～15 認知症を知る月間

15th
Hitachiomiya



いばラッキー

天皇陛下御即位記念

いきいき茨城ゆめ国体2019

第74回国民体育大会

翔べ 羽ばたけ そして未来へ

いきいき茨城ゆめ国体がいよいよ来月末から開催されます。また、第19回全国障害者スポーツ大会いきいき茨城ゆめ大会も県内各地で開催されます。

大会名：天皇陛下御即位記念 第74回国民体育大会 愛称：いきいき茨城ゆめ国体 開催期間：9月28日(土)から10月8日(火) 実施競技：正式競技37競技 特別競技1競技 公開競技5競技 デモンストレーションスポーツ31競技 目的：広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的としています。 参加者数：約23,000人	大会名：天皇陛下御即位記念 第19回全国障害者スポーツ大会 愛称：いきいき茨城ゆめ大会 開催期間：10月12日(土)から10月14日(月) 実施競技：個人競技6競技 団体競技7競技 オープン競技7競技 目的：障害のある選手が競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することを目的としています。 参加者数：約5,500人
---	--

- 正式競技 ― 都道府県対抗で実施され、得点対象（天皇杯・皇后杯対象競技）となる37競技です。
- 公開競技 ― 都道府県代表の参加により中央競技団体主導で開催するものです。茨城県では5競技実施され、都道府県対抗の得点対象となりません。
- 特別競技 ― 毎年開催される高等学校野球のことをいい都道府県対抗の得点対象となりません。
- デモンストレーションスポーツ ― 子供からお年寄りまで県内在住者を対象として幅広く参加できるスポーツ、都道府県対抗の得点とはなりません。

本市はなぎなた競技会の会場

本市は、西部総合公園体育館がなぎなた競技会の会場となっています。

なぎなた競技茨城県代表選手は少年の部から3人、成年の部から3人の合計6人が出場します。

45年振りの茨城での国体開催。国体ならではの会場の雰囲気や全国大会の迫力を会場でお楽しみください。

また、皆さんの応援が選手の力になります。ぜひ、会場で選手の皆さんを応援してください。

なぎなた競技会日程

月日	内 容	時 間	場 所
9/29 (日)	開会式	9:25	西部総合公園体育館 メインアリーナ
	公開演技	10:05	
	少年女子 演技競技	10:30	
	少年女子 試合競技	13:00	
9/30 (月)	少年女子 試合競技再開	9:00	
	成年女子 演技競技	10:00	
	少年女子表彰式	11:50	
	成年女子 試合競技	13:00	
10/1 (火)	成年女子 試合競技再開	9:00	
	公開演技	12:10	
	成年女子表彰式	12:45	
	総合表彰式 閉会式		

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技に出場する選手と監督にインタビュー

- ①氏名 ②出身 ③国体へ向けての意気込み、目指すところ、皆さんに伝えたいこと
④将来の目標や夢など

少年の部（高校生）



- ①清水 美帆選手
②ひたちなか市
③国体に向けて今できることを確実にできるようにし、さらなる高みを目指します。
応援よろしくお願いします！
④地元で仕事に就くことです。



- ①橋本 瑠李選手
②那珂市
③茨城国体に向けて、自分の技やメンタルを高めていき、大会では茨城の勝利へとつなげられるようなプレーをしていきたいです。ここまで来られたことの裏側には、先生や家族、仲間、茨城の人たちなどたくさんの皆さんの支えがあったので、その人たちにも良い形で恩返ししていきたいと思います。チーム茨城で一丸となって頑張りますので、応援よろしくお願いします。
④建築関係のことを学んで、いろいろな地域のまちづくりや都市設計を行ったり、海外で学校や住む場所に困っている人たちに良い環境を整える仕事をしたいです。



- ①久保 リビア選手
②石岡市
③演技・団体ともに優勝し、チーム全員で表彰台に上ることが一番の目標です。自分や仲間を信じ、正々堂々と戦い観ている人たちが感動するような試合をしたいです。支えてくださる皆さん、応援してくださる皆さん全員に感謝し、恩返しできるように頑張ります。
④言語を一生懸命勉強し、世界に羽ばたく仕事をしたいです。



▲練習の様子



▲横山良子県なぎなた連盟副理事長兼事務局長の指導を受ける少年の部の選手たち

なぎなたの理念

なぎなたは、なぎなたの修練により、心身ともに調和のとれた人材を育成する。

成年の部（大学生～一般）



- ①水谷 晴佳選手
②ひたちなか市
③高校2年生の時に、当時顧問だった現石川郁子監督から「7年後に茨城県で国体が開催される」という話を聞き、地元茨城県で開催される国体に出場したい!たくさんの人になぎなたの魅力や楽しさを知ってもらいたい!と思うようになりました。なぎなたが上手になりたい一心で、鹿屋体育大学（鹿児島県）に進学し、4年間なぎなた漬けの学生生活を経て、目標にしてきた茨城国体に出場します。国体が開催されるにあたり、支えて下さる全ての皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、優勝をもって恩返ししたいです。スピード、気迫のあふれる試合で茨城県の勝利に貢献します。今回の国体で、なぎなたの魅力を少しでも感じ興味を持って頂けたら嬉しいです。チーム茨城頑張ります!
④90歳を過ぎても、なぎなたを振れる元気なおばあちゃんになりたいです。



- ①服部 ゆかり選手
②那珂市
③目指すは優勝!たくさんの皆さんの支えがあって、選手として茨城国体を迎えられることに、感謝の気持ちでいっぱいです。感謝の想いを必ず結果で表わせるよう全力で戦います。
④世界大会に出場して優勝することと、なぎなたの魅力や面白さを伝えられる指導者になることです。



- ①新島 希美選手
②常陸太田市
③目標としていた国体に出場することができ、とても嬉しいです。リハーサル大会では、結果を残すことができませんでしたが、国体では皆さんの応援を力にして結果へとつなげていきます。これまで支えてくださった皆さんの想いを無駄にしないよう、自分を信じ、仲間を信じて一戦一戦自分らしい戦いをします!
④いつまでも「お母さんかっこいい」と言ってもらえるように、芯の強い女性になることです。

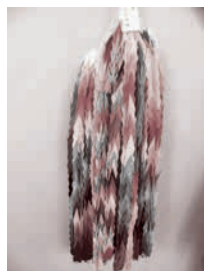


- ①石川 郁子監督
②常陸大宮市
③いつも温かな応援ありがとうございます。地元に住んでいて多くの人の応援やサポートをより身近に感じています。今回の国体をとおして、なぎなたの魅力を伝えとともに日々の応援を力に変えて優勝目指して頑張ります。

千羽鶴で届ける思い

市スポーツ少年団では、いきいき茨城ゆめ国体に出場する選手を応援する茨城県選手団応援プロジェクトに参加しました。市内16のスポーツ少年団の皆さんが作った千羽鶴を茨城県スポーツ少年団本部へ届けました。

（参加団体）
大宮水泳・正念館・大宮サッカー・シャイニングボーイズ・フェアリーズ・大宮バレーボール・山方霞空塾・御城館・山方サッカー・小瀬・御前山ビクトリー・糸東会大宮支部空手道・J.ドリーム・上野剣道クラブ・常陸大宮合気道・常陸大宮市陸上競技



全国障害者スポーツ大会とは？

全国障害者スポーツ大会は、3日間の会期で開催され、全国から都道府県・指定都市選手団約5,500人（選手約3,500人、役員約2,000人）が参加し、個人競技6競技、団体競技7競技の13競技及びオープン競技が実施される国内最大の障害者スポーツの祭典です。

平成12年まで別々に開催されていた「全国身体障害者スポーツ大会」と「全国知的障害者スポーツ大会」を統合し、平成13年に第1回大会が宮城県で開催されました。以降、オリンピック終了後に開催されるパラリンピックと同じように、毎年国民体育大会終了後に開催されています。

正式競技（13競技）

個人競技

陸上競技

水泳

アーチェリー

卓球

※サウンドテーブルテニスを含む

フライングディスク

ボウリング

団体競技

バスケットボール

車いすバスケットボール

ソフトボール

グランドソフトボール

フットベースボール

バレーボール

サッカー

出典：いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実行委員会事務局ホームページ

いきいき茨城ゆめ大会に出場する市内在住の選手にインタビュー

- ①氏名 ②国体へ向けての意気込み、目指すところ、皆さんに伝えたいこと ③将来の目標や夢など

車いすバスケットボール 会場：つくばカピオ（つくば市）

- ①寺門 和也選手
②今回の大会で自分たちのチームが目指すことは、普段練習していることを試合でしっかり出せるようにすることです。車いすバスケットボールは、障碍の重い人から軽い人まで持ち点制でチームの中で選手が均一に試合に出場できるスポーツです。この大会をとおして、皆さんに車いすバスケットボールを知ってもらいたいと思います。
③最近では健常者プレーヤーも障碍者の大会に出られるようになり、健常者プレーヤーも増えてきています。興味がある方は、一度見学に来て頂ければと思います。

バレーボール 会場：かなくぼ総合体育館（結城市）

- ①綿引 璃緒菜選手
②私は、いきいき茨城ゆめ大会に向けて、練習に励んでいます。仕事とバレーボールの練習の両立は大変ですが、結果がどうであれ、市民の代表の誇りを持って、大会に望んでいきたいと思います。自身の成長のために思い出の大会にしたいです。試合では、チームプレーに重点を置き、声掛けを中心にボールをつなげるよう努力をし、ひとつひとつ勝利にこだわりたいです。

陸上競技 会場：笠松運動公園陸上競技場（ひたちなか市）

- ①田所 慶悟選手
②「勝つ」のみ!

市制施行15周年を迎えて 常陸大宮大使からのメッセージ

(五十音順・敬称略)

常陸大宮市の良い食品を広めたい！



(株)芽ばえ社 安藤 節子

食品はメジャーなものよりもマイナーなものの方が体に良いことが今では知られています。常陸大宮市には珠玉の食品がいろいろあります。妥協せず主張する食品づくりは地元農業との連携を感じます。地元でしか買えないのは当然ですが、数年前に銀座のアンテナショップで行われたような常陸大宮市フェアを再び期待します。

常陸大宮の存在価値



作曲家 池辺 晋一郎

疎開、さらに疎開という形で幼い日々を常陸大宮のすぐ近くで過ごしました。胸キュンの郷愁をこの地に覚えるのはそれが故でしょうか。美しい風景は心の美しさを育て、保ち続けさせるーそんな場所の典型として、常陸大宮の存在価値を一層高めていってください。

我が愛しきふるさと



井田商事(株) 日本ばし鶴の家
井田 直子

私が79年前に産ぶ声をあげた故郷が今日のような発展を遂げ、美しい自然を守り続けておられることは、私たち故里を離れて暮らしている者たちにとって何と誇らしく幸せなことでしょう。これからも益々のご発展を祈りつつ大使として故里のお役に立ちたいと思っています。

第二の故郷「常陸大宮」



作曲家 近江 たかひこ

中学時代の三年間を過ごした常陸大宮は、私の第二の故郷です。ロゼホールでは二度コンサートを開催し、たくさんのお客様にご来場いただき、心よりお礼申し上げます。また、震災の時は老人福祉施設に五回程慰問にお伺いしました。常陸大宮をより多くの方に知って頂くよう、大使として東京でのさまざまな場面で常陸大宮をPRさせて頂いています。

常陸大宮の魅力



写真家 大貫 亘

日頃、奥久慈周辺で撮影活動をしています。昨年は、那珂川を題材とした写真集「川霧の里」を上梓、併せて東京六本木にある富士フィルムフォトサロンを皮切りに県内外で写真展を開催しています。また、パークアルカディア内のケビン村に宿泊しての撮影会を毎月開催し、県内外から多くの方に参加して頂いています。今後も写真をとおして常陸大宮の魅力を発信していきたいと思っています。

節目を迎える常陸大宮市とともに新たな挑戦へ



プロライダー 大森 雅俊

ダートトラックライダーとして常陸大宮市の皆様からは、沢山の応援を頂き、レース活動の励みとなっています。相棒のひたまるとともに世界各国、日本各地のレースに参戦、スクール、イベントに参加しています。本年度は新たなカテゴリーであるスーパーモタードに挑戦し、更なる飛躍を考えています。

西の内紙名刺でPR



(株)筑波銀行 木村 興三

広報常陸大宮は市政や市民の皆さまの様子が幅広く掲載されていて、三次市長はじめ関係各位の不断のご尽力がうかがえます。現在、筑波銀行文化事業の一環として、お茶（表千家）に携わっていますが、全国支部長などにも話題を添えてカラフルな大使の名刺を差し上げています。ふるさとの末永い発展を願いながら。



雀百まで踊りを忘れず



(公財)日本海事センター 國安 和美

旧御前山村檜山で生まれ、高校を卒業する18歳まで素晴らしい自然・風土・何よりも優しい地元の人、すべてが恵まれた環境の中で日々のびのびと育てられました。東京に来て50年が経ちますが、年を重ねるごとに思い出いっぱいの故郷にひきつけられています。これからも「常陸大宮市」の魅力のPRに努めていきます。

瑞穂農場近況報告



(有)瑞穂農場 下山 一郎

瑞穂農場は、日本全国に牧場を保有し、生乳生産量日本一の牧場です。現在、県内一部スーパーとコープで常陸大宮市の本社牧場の生乳のみを100%使用した牛乳を販売しています。常陸大宮市は、暑過ぎず寒過ぎずの気候で牛を飼うには国内でも最適の場所であり、常陸大宮発の安全、安心で美味しい生乳、および肉牛の瑞穂牛の生産を心掛けています。

Sojiro オカリーナの森から



オカリナ奏者 宗次郎

緒川地区のふれあいの森内に「オカリーナの森」を建設させて頂いて今年で11年目になります。ファンクラブの集いやオカリナコンサートを催しながら、全国の皆様、さらに台湾や中国のオカリナ愛好家の皆様との交流も深めています。また、パーソナリティを担当しているラジオ番組でも常陸大宮、オカリーナの森の魅力を伝えています。

思い出



(株)至誠堂 鷹巢 照良

山方村市ノ沢で生まれました。鳥追いの行事だったか近くのたばこ乾燥場で地元の子供だけで芋田楽などを食べたことや、楮の皮むき。蒸しあげた楮を近所の女性や子供が皮を剥きます。手間賃代わりに中の木がもらえます。子供には母の笑顔がご褒美です。久慈川な

ども離れて65年も経つのですが忘れることはありません。

ゴルフ場運営を通じた常陸大宮市の魅力発信



(株)穴戸国際ゴルフ倶楽部

多田野 敬

私が代表取締役社長を務める静ヒルズカントリークラブでは、「LPGA ステップアップツアー 静ヒルズレディース森ビルカップ」を2017年から3年連続で開催、県内外より多くの方にご来場頂いています。大会中は、常陸大宮市にご協力頂き、地元のPRと特産品販売ブースの設置、地元小学生向けの課外授業なども行い高い評価を得ました。今後もゴルフ場運営を通じ、市のPRと魅力発信に尽力していきたいと考えています。

地方創生のキーワード



(株)常陽銀行 寺門 一義

今年度は、地方創生第一期の「まち・ひと・しごと創生」総合戦略の最終年度。令和時代を迎え、常陸大宮創生戦略のキーワードは何か。デジタル革命の下で、社会の課題解決を目指す「Society5.0」のキーワードは2つの「ソウゾウ（想像と創造）」。「大宮バイパス整備を踏まえ、「ひと・もの」の交流拡充に向けた「ソウゾウ」の発揮がキーワードか。

きりえの展覧会を開催し西の内紙のPR



きり絵作家 富山 明峰

私は、「明峰ときりえの仲間たち展」をとおして、日本の伝統文化である西の内紙を使用した、きりえ作品を受講生とともにPRしています。市の芸術文化の発展のため文化協会会長として努力しています。県内全域できりえ教室、カルチャーセンターなど、キューバ、中国、ドイツ、パリなどでも展覧会を開催し、全国のきりえ仲間と活動しています。

雪村の顕彰に取り組む



歴史ジャーナリスト 富山 章一

常陸大宮市が生誕地とされる室町時代の画聖・雪村周継の顕彰会を有志と共に立ち上げ活動しています。雪村の作品はその奇抜さと絵に込められた精神性から国内外で高い評価を得ていて、顕彰活動が浸透すれば、生誕地として本市の知名度は確実に上がると考えられます。そのためにも「雪村屋敷跡」の特定と発掘調査は急務で、今後もその活動に力を入れていく方針です。

豊かな里山、そこに暮らす方々のおかげで



漆芸家 本間 幸夫

1992年に地元の皆様と行政のご厚意でウルシを植え始めてから27年の時間が経ちました。その間、盛金に仕事場を作り、NPO法人壺木呂の会でも地元のご協力を頂き、公益的な仕事をしています。個人的には日経BP社から作品・論考集「-UTSUROI- 本間幸夫の漆の仕事」を昨年出版しました。今後も常陸大宮市での活動をアピールしたいと考えています。

常陸大宮から全国のお母さんへ



(有) モーハウス 光畑 由佳

2015年、共同参画講演会でお話しさせて頂いたのがご縁の始まりです。終了後は蕎麦打ちにお誘い頂きその美味しさに驚きました。また、私たちの胸が見えない授乳服は常陸大宮で縫われています。ふるさと納税の返礼品に選ばれ、多くのお母様に喜んで頂いています。都心からこんなに近くにこんなに豊かな場所があることをいつもお伝えしています。

ピジョン育樹キャンペーンと美和のかかわり



ピジョン(株) 山下 茂

ピジョン(株)では、「育児と育樹、心はひとつ」をスローガンに、1986年から「赤ちゃん誕生記念育樹キャンペーン」として育樹活動を行っています。美和地区にこれまで植えた木は145,000本。常陸大宮市の皆様に支えていただいている活動ですが、当キャンペーンが常陸大宮市の活力の一助になれるよう今後も続けていきます。

私の使命

(株)ディックスプロモーション 横堀 加寿夫



「常陸大宮市文化センター」の指定管理者である私の使命は、常陸大宮市民はじめ、近郊の皆様の世界中からの文化・芸能を提供することです。文化事業を通じて、常陸大宮市の名所、味覚等の見どころを出演者及びその関係者に発信しています。また、弊社は映像制作会社でもあり、全国に撮影の折、常陸大宮市のPRに努めています。友人をゴルフに誘い、イベントを観て頂く企画もやっています。

これからも頑張ります



(株)TBS 渡辺ヘルムート直道

本市に移住してから、お陰様で12年目となりました。その間、たくさんの方々にお会いでき感謝しています。また農業の傍ら、山方芋煮会の手伝いや、奥久慈漆の採取、西の内紙作り等、市内の貴重な産物に触れさせて頂きました。今後も新しいことに挑戦していきますので、何かあれば是非お声がけください。よろしくお願いいたします。





ふるさと応援寄附金 ご支援ありがとうございました

ふるさと応援寄附制度は、ふるさとを想い応援いただいた寄附金を市が実施する事業の財源として市政に反映させ、「ふるさとづくり」を推進していくことを目的とする制度です。

いただいた寄附金は、次の目的に沿った事業を進めるため、大切に活用していきます。

平成30年度寄附金額 48,831,000円（3,402件）

使い道別内訳

①未来を担う人づくり支援	23,820,000円
②自然環境保全支援	6,445,000円
③地場産業支援	6,125,000円
④芸術文化・スポーツ振興支援	1,545,000円
⑤その他の事業（市長が必要と認めるもの）	10,896,000円

※寄附件数1件に対し、複数の使い道を指定することができます。

★ふるさと応援寄附のご案内★

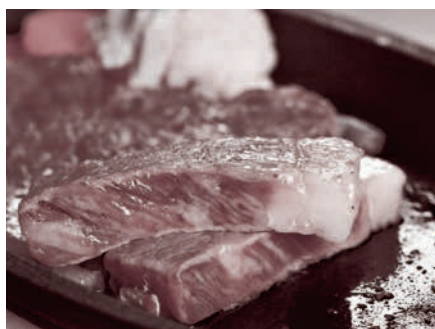
市外からふるさと応援寄附をしていただいた方々に、感謝の気持ちを込めて市の特産品を返礼品としてお送りしています。

肉・酒類、加工品をはじめ、和紙・陶芸・漆器などの伝統工芸品、さらにはカヌー体験など、市の魅力を伝える自慢の返礼品となっています。

寄附は、ふるさとチョイスや楽天ふるさと納税、市のホームページでも申込ができますので、市外在住のお知り合いの方へ、ぜひ「常陸大宮市ふるさと応援寄附」をご紹介します。



▲奥久慈の恵「うまかっぺ米」と季節の野菜セット



▲常陸牛ステーキセット



▲西の内紙心付けセット



▲カヌー体験

■問い合わせ■ 地域創生課 地域づくり推進グループ
☎ 52-1111（内線383）

泉坂下遺跡第6次確認調査現地説明会を開催しました

泉坂下遺跡が平成29年度に国指定史跡に指定され、今後史跡として整備していくための基礎資料を得ることを目的として、6月～7月の2か月間調査を行いました。その成果を踏まえた現地説明会を実施し、県内外から約90人が参加。会場への誘導には、「泉坂下遺跡を守る会」の皆さんが活躍しました。



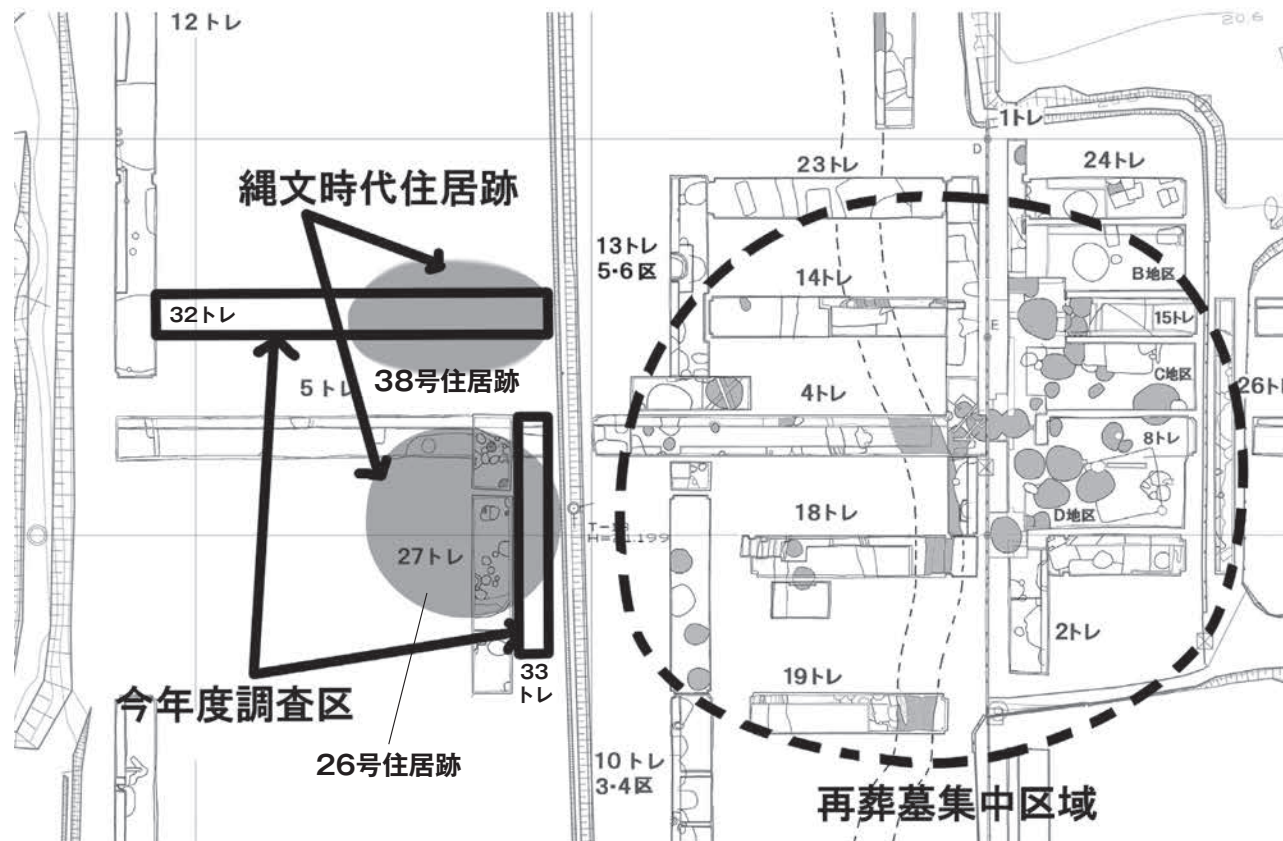
▲遺物の出土状況を開関



▲出土品を前に説明

泉坂下遺跡は、平成18年に弥生時代中期の再埋葬遺跡が発見され、そこから人面付壺形土器をはじめとする壺形土器など多くの遺物が出土しました。その後、教育委員会が行った4次にわたる確認調査により、再埋葬の分布範囲が判明し、平成29年、国史跡に指定されました。

昨年度実施した第5次と今回の調査では、弥生時代の再埋葬が造られる前、縄文時代晩期の住居跡の周辺を調査しています。縄文時代晩期の集落遺跡と弥生時代の再埋葬遺跡は不思議と同じ遺跡から見つけることが多く、泉坂下遺跡もその一つです。縄文時代から弥生時代にかけて、どのように遺跡が利用されていたのかを調査しました。



▲全て縄文時代晩期の土器や石器（28号住居跡）



▲26号住居跡を掘り込んで造っていた弥生時代中期の土坑（左側2点が鉢、右側2点が蓋）



▲弥生時代中期の土坑（上から3枚目の写真の鉢2点を取り上げて調査を進めたところ、さらに2点の土器が姿を現しました）

調査区からは縄文時代晩期の遺物が大量に出土しました。これらは、縄文時代晩期（2800年前頃）につくられた竪穴式住居跡です。住居に人が住まなくなった後、住居を造るために掘られた穴に、壊れた土器や石器の失敗作などを捨てたために、数百年かけて遺物が堆積したものです。

多くは土器の破片で、美しい磨消縄文の文様で飾られた東北系の土器が多くありました。種類は日常的に煮炊きを使う大きな甕や、豪華な装飾のついた台付きの浅鉢、お酒などを注ぐための特別な注口土器（急須のような形）などさまざまです。石器も木の実をすり潰すための石や、メノウのやじり、祭祀に使ったと考えられている石剣・石棒なども見つっています。

古いものから順に堆積しており、一番上の層、つまり一番新しい時代は弥生時代再埋葬の時代の土器もありました。

弥生時代中期の土坑も重複して発見されました。再埋葬遺跡が造られた時代のほんの少し後の時代のものです。これらの土器は、福島県域で主に出土する「龍門寺式土器」といわれる系統の土器で、これほど残りが良くきれいな形で見つかった例は県内では、ほとんどありません。

鉢や蓋が逆さまに置かれた状態から、壺形土器を骨壺として利用する再埋葬とは異なる形態のお墓と考えられます。亡くなった人を埋葬して土をかぶせた後に、土器を並べたのかもしれませんが。再埋葬を造る風習がなくなった頃のお墓である可能性があります。

今後も、地域にとって貴重な財産である泉坂下遺跡をより広く共有するべく、調査成果をまとめ、史跡整備に向けた事業を進めて行きます。

引き続き、ご理解とご協力をお願いします。

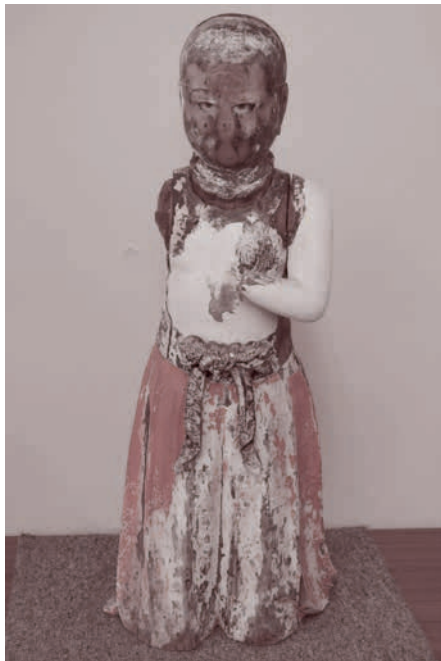
■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化・スポーツグループ
☎52-1111(内線343)

市の文化財を新たに指定しました

教育委員会では貴重な文化財を保存し、また活用などを図ることを目的として、文化財の指定を行っています。7月5日、新たに4件を市の文化財として指定しましたので紹介します。

なお、今回指定された文化財は、9月に開催する歴史民俗資料館大宮館の企画展で公開予定です。



▲聖徳太子立像

①木造聖徳太子立像（南無仏太子） 1 軀

八田の鹿島神社の境内にある太子堂に安置されていました。

この像は、聖徳太子が2歳の時に、東に向かって「南無仏」と唱え、合掌する掌中より仏舎利がこぼれ落ちたという言い伝えにちなむ南無仏太子像です。

上半身は裸で、赤い裳を長く着ける童子の姿で表されています。材質は檜材で、像高72cmです。浄土真宗や律宗系の寺院などで厚く信仰される聖徳太子像は、16歳の孝養太子像、30歳の摂政太子像などが作られましたが、県下での南無仏太子像は、わずかな事例しか確認されておらず、また室町時代の作品と思われることから、大変貴重な作例です。剥落が激しく、喪失部分も多いため、現在仏師に依頼し、修復中です。



▲木造狛犬（愛宕神社）一対

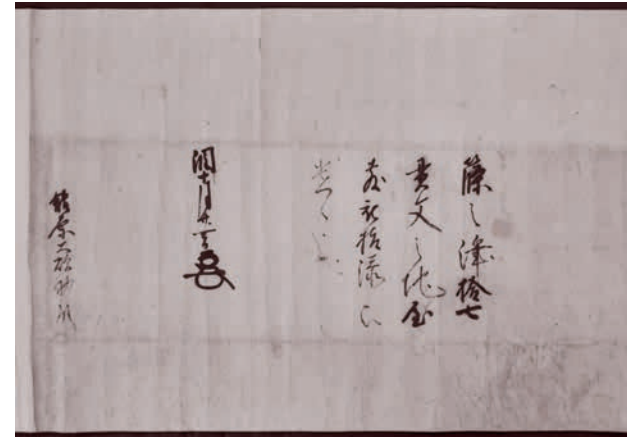
②木造狛犬（長倉愛宕神社）一対

長倉の愛宕神社に伝わる狛犬です。

愛宕神社は、火防の神を祀った神社で、最初は蒼泉寺前の字古愛宕にありましたが、いつの頃から現在の字寺家山に移されました。社殿の内部か扉の外の下などに置かれたものであろうと思われます。全高15.5cm、鎌倉時代の頃の作品で、材質は檜材と考えられます。

小ぶりではありますが、彫りが素晴らしく精悍な顔立ちをしています。漆箔という

技法で仕上げられ、ところどころに金箔をほどこした跡が残っています。向かって右側が阿形、左側が吽形です。



▲東義堅知行充行状

③立原家文書 3通・2巻

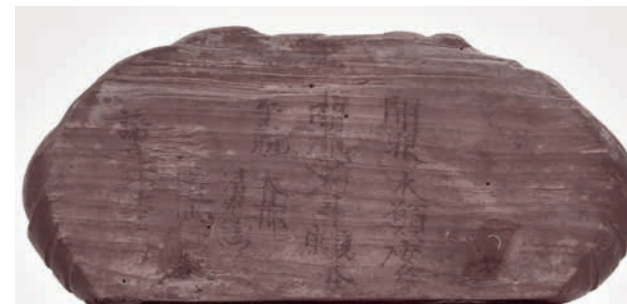
佐竹氏の一族・東家に仕えた野上の立原家に伝わる古文書群です。東義堅知行充行状（館原大炊助宛、弘治元年〈1555〉10月21日）、酒出義久官途状（館原市右衛門尉宛、元亀4年〈1573〉6月9日）、東義久官途状（立原隼人佐宛、年未詳5月12日）の3通と、元禄14年（1701）に彰考館員の丸山可澄が記した立原氏由緒書の正本及び副本で構成されます。由緒書によれば、立原家は代々佐竹氏に仕え、野上土地内に土地を安堵（所有を認める）されました。本市では中世文書の残存が大変少なく、当時の在地支配を知るための貴重な史料です。



▲宝冠釈迦如来坐像

④木造宝冠釈迦如来坐像 1 軀

平成30年2月、30年ぶりに御開帳された塩子観音堂から発見されました。その名のとおり頭部に宝冠を着けた釈迦如来坐像で、高さは34cm、一木造で、底部の墨書銘から、室町時代の明応9年（1500）に制作されたことがわかります。これは、墨書銘をもつ彫刻としては本市で最古のものです。塩子観音はもともと大沢寺という浄土宗寺院でしたが、明治のはじめに廃寺となり、観音堂だけが残りました。現在も延命・子育ての観音様として地域の人々に大切にされています。



▲底部の墨書

「底部墨書銘」
開眼本願慶任□
（二五〇〇年）
明應九年庚申日
午剋大旦那
清左衛門
道□（師カ）
諸旦那大□□

■問い合わせ■

文化スポーツ課 文化・スポーツグループ ☎52-1111(内線344)

9月は「茨城県認知症を知る月間」です

毎年9月21日の「世界アルツハイマーデー」にあわせて、県では市町村とタイアップした広報啓発活動を実施しています。県では9月を「茨城県認知症を知る月間」とし認知症の早期発見や、認知症予防の取組みを推進しています。

認知症は脳の病気

認知症とは、脳や身体の病気などが原因で、脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなることにより記憶力や判断力などに障害が起^{しょうがい}こり、日常生活に支障がある状態のことをいいます。認知症は高齢者だけでなく、若年性認知症もあり、誰にでも起こりうる脳の病気です。

“加齢に伴うもの忘れ”と“認知症によるもの忘れ”の違い

「人の名前が出てこない」「物の置き場所を忘れる」といったもの忘れを誰もが経験します。例えば、昨日の朝食のメニューを思い出せないことはよくありますが、認知症になると朝食を食べたこと自体を忘れ、「朝食を食べていない」と言うことがあります。

加齢に伴うもの忘れ

経験したことの一部を忘れる
物の置き場所を思い出せないことがある
曜日や日付を間違えることがある

認知症によるもの忘れ

経験したこと自体を忘れる
置き忘れ・紛失が頻繁になる
月や季節を間違えることがある

「年のせい…」と受診をためらわず、不安なことがあるときには早めに受診しましょう

志村大宮病院 認知症疾患医療センター

電話受付時間：9時～17時

診察日：月曜～金曜 第4土曜日（予約制）

☎58-8020

※電話予約をしてから受診してください。

常陸大宮済生会病院 もの忘れ外来

電話受付時間：13時～17時

診察日：水曜午前中（予約制）

☎52-5151

※電話予約をしてから受診してください。

認知症予防カフェ・家族のつどいカフェ

認知症の方やその家族、地域の方などがお茶を飲みながら交流し、認知症予防に効果的な頭と体を使った運動や介護や医療の専門相談ができます。

【認知症予防カフェ】毎月第4土曜日 10時～11時30分

【家族のつどいカフェ】偶数月第1土曜日 14時～16時

場所 サポートセンター大宮内 カフェテリアエルマウ



認知症の方への対応の心得「3つのない」

- 1 驚かせない
- 2 急がせない
- 3 自尊心を傷つけない

認知症についての正しい知識を持ち、対応について学ぶ「認知症サポーター養成講座」を企業、各種団体、小中学校などで開催しています。

受講者には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」を差し上げます。



認知症初期集中支援チーム

市では、平成30年5月に、医療・介護の専門職による「認知症初期集中支援チーム」を志村大宮病院認知症疾患医療センターに設置しました。

このチームでは、看護師、社会福祉士などが認知症の方や認知症の疑いがある方の家庭を訪問し、認知機能の低下により、どのような生活上の困難さがあるのか、本人や家族がどのように困っているのかなどを確認し、状況に合わせた今後の対応と一緒に考えます。認知症専門医の協力を得て、介護サービスや医療につなげていくために、おおむね6か月を目安に集中的に支援を行います。あわせて、本人や家族の心理的サポートも行います。



こんなときはご相談ください

- 例えば
- 介護サービスを利用したいが、本人がサービスを受けたくない
 - 認知症の診断を受けたいが、本人が病院に行きたがらない
 - 認知症の治療を中断している
 - 認知症の症状が強く、介護や対応に困っている など

認知症相談窓口

地域包括支援センターに認知症に関する研修を受けた「認知症地域支援推進員」を配置し、身近な場所で相談できる窓口を設置しています。認知症かなと心配な方、家族のことでお悩みの方はひとりで抱え込まずご相談ください。

秘密は厳守、相談は無料です。

■問い合わせ■

長寿福祉課 高齢者支援グループ ☎52-1111(内線173)

南部地域包括支援センター ☎53-6810 北部地域包括支援センター ☎57-3326



7/1 社会を明るくする運動 内閣総理大臣メッセージ伝達式

第69回社会を明るくする運動に関する内閣総理大臣からのメッセージが、那珂地区保護司会会長沢畑益雄氏ほか2人から、市長へ伝達されました。

この運動はすべての国民が、犯罪や非行の防止と、あやまちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



▲市長へメッセージを伝える沢畑益雄さん（真ん中奥から）宇留野治男さん、宮崎誠一さん

7/17 地域の安全を守る

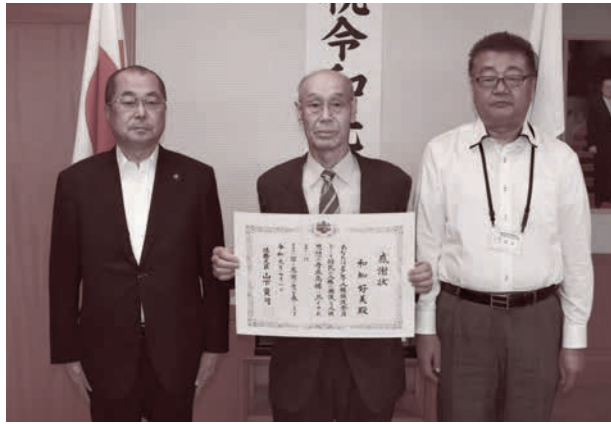
野口地内で発生した建物火災で、いち早く初期消火を実施した小森光男さん（三美）と皆川俊光さん（野口）が三次真一郎市長と内田正行消防長から表彰されました。帰宅途中の小森さんが偶然火災を発見し、周囲に知らせながら現場近くにお住まいの皆川さんと協力し、消防隊が到着するまで近くの公設消火栓と消火栓ボックス内のホースを使って放水し続け、延焼の拡大を防ぎました。



▲左から三次真一郎市長、小森光男さん、皆川俊光さん、内田正行消防長

7/10 人権擁護活動法務大臣表彰

市の人権擁護活動に多くの功績があったとして、和知好美さん（高部）が法務大臣から表彰されました。和知さんは、平成19年から人権擁護委員として、皆さんからの人権相談や人権思想の啓発活動を積極的に行うなど、4期12年の長きにわたり、広く人権擁護活動に貢献されました。



▲左から三次真一郎市長、和知好美さん、尾又真一常陸太田支局長

7月 市民の方からまちのできごと 非常用持出袋を配布

野上第1区では、地震などの災害に備えて区内の世帯（204世帯）に、いざという時には背負って持ち出せるナップザック型の非常用持出袋を配布しました。「乾パン」「非常用保存水」を一緒に配布し、「非常持ち出し品・備蓄品チェックリスト」も配布しています。

いつ起こるかわからない地震等の自然災害に備えて、各家庭での備蓄や地震対策を進め「我が家は大丈夫」「ここは安全」などと過信することのないよう、皆さんが防災意識を高めるきっかけになればと期待しているそうです。



▲備えておくことが大事ですね

6/16-17 市民の方からまちのできごと 小田野様ストーリー

小田野区（佐藤誠区長）の区活性化特別企画として、23人の参加者が秋田県秋田市と仙北市角館町を1泊2日で訪れました。この企画は、慶長7年（1602）、佐竹氏の秋田国替えに従った一族や家臣のうち、角館に移住した小田野氏の足跡を訪ねたもの。秋田市千秋公園の久保田城跡で小田野家屋敷跡を見学したり、秋田県立近代美術館では、解体新書の挿絵を描いた秋田蘭画の先駆者である小田野直武の「岩に牡丹図」も見学し、地元の歴史を学ぶ研修となりました。



▲角館の武家屋敷小田野家前でパチリ

7/6 小祝・えごまの学校

平成28年度から始まった「小祝・エゴマの学校」が今年度も開校されました。第1回目は、地元小祝地区の先生たちが育てた苗を、ほ場に植える作業に取り組みました。18人の参加者は6人の先生たちと和やかに交流しながら、一つ一つ丁寧に手植えし、エゴマの栽培について楽しく学んでいました。

この事業は、市内小祝地区で『遊休農地の活用×エゴマ栽培を通した農業振興×体験プログラムでの交流促進』を図るために実施されているものです。

■問い合わせ■

道の駅常陸大宮～かわプラザ～ 電話：58-5038



▲成長が楽しみです

7/3 地域ケア会議

おおみやコミュニティセンターで、医療職、介護職、消防職、民生委員など91人が参加し、地域ケア会議を行いました。今回は10月に再編される市内の地域公共交通網の課題等について、企画政策課、社会福祉協議会からの講話とグループワークを実施しました。参加者からは「乗合タクシーや路線バスの利用方法の周知が必要である」と多くの意見がありました。広報やお知らせ版掲載のほかに関係部署と協議を行い幅広く周知を行います。そのほか頂いた意見をもとに市の政策形成につなげることを目指します。



▲活発な意見が出ました

7/7 七夕まつり in おがわ

緒川支所駐車場で、第10回七夕まつり in 緒川が開催されました。今回は市制施行15周年記念事業として、緒川地域の保育園、小中学校や団体等に加え、美和地域や山方地域からも多くの七夕飾りが出展されました。会場内には、きらびやかなビック七夕飾りやミニ七夕飾りが並び、特に、すだれ七夕飾りには、多くの来場者が足を止め見入っていました。また、「クイズ知ってっけ？」などのクイズイベントも開催されました。



▲すだれ七夕飾り

7/10

常陸大宮市のお宝発見ツアー2019

常陸大宮市のお宝発見ツアー2019の第1回到市内の小学4から6年生20人が参加しました。

午前は、押し花インストラクターの久和野さたさんを講師にお招きし、押し花体験を行いました。色とりどりの花の中から、好みの花を選び、きれいに花を並べていました。一人ひとりが個性あふれる世界に一つだけの押し花作品を作ることができました。午後は、御前山地域にある蒼泉寺に行き、市の指定文化財になっている花や鳥が描かれた「格天井の絵画」や龍の水墨画が描かれた杉板の「板戸絵」



▲座禅に集中していました

を見学しました。

その後、初めての座禅体験にも挑戦しました。足がしびれてしまった児童も多かった一方で、「とても心が落ち着いた」という感想もありました。

児童たちは、年間を通してさまざまな体験をし、学校・学年の違う仲間たちと協力しながら、本市の誇れるものについて学んでいきます。

このツアーは、茨城大学生ボランティア「子どもふれあい隊」の皆さんの協力を得て実施しています。

子どもふれあい隊の声



茨城大学2年 青木駿太

私は初めての参加でしたが、元気いっぱいの児童たちと押し花をしたり、蒼泉寺で座禅をしたり、とても楽しい貴重な経験を一緒にすることができました。また次回、みんなに会えるのを楽しみにしています。

7/11

茨城県農業三士の認定

県総合福祉会館で、県農業振興のけん引役となる農業三士（農業経営士、女性農業士、青年農業士）の認定・退任式が開催されました。本市からは、下岩瀬で水稻、ナス等の生産・販売に積極的に取り組む萩谷龍司さんが青年農業士として新たに認定されました。萩谷さんは、地域農業の中核的役割を果たしている青年農業者であり、地域のリーダーとしてさらなる活躍が期待されます。



▲（前列左）萩谷龍司さん

7/14

鷺子山上神社夏例大祭

4年に1度の鷺子山上神社夏例大祭が鷺子地区袋木地内を中心として開催されました。見事な装飾が施された2台の屋台と4台の山車を6つの組がそれぞれ運行し、組から組へと渡御された神輿とともに国道293号などを練り歩きました。祭りの見どころである通称「ぶんぬき」では、屋台と山車に乗ったお囃子が一段と激しく笛や太鼓を打ち鳴らし、その迫力と熱気に多くの観客が酔いしれていました。



▲ぶんぬきでお祭りは最高潮に

7/28

消防ポンプ操法競技大会

第15回市消防ポンプ操法競技大会が辰ノ口地内のおおみや消防広場で開催されました。各分団の選手たちは操法の正確さなど練習の成果を十分に発揮していました。優勝した分団は、10月におおみや消防広場で開催される県北地区大会に出場します。



▲ポンプ車操法の部優勝 第15分団（緒川）



▲小型ポンプ操法の部優勝 第13分団（緒川）

8/5

小瀬高校生をパラオへ派遣

JENESYS2019（※）でパラオ共和国へ派遣される小瀬高校生の梶山璃奈さん（3年）、手塚麻衣さん（3年）、安藤沙優里さん（1年）が出発を前に三次真一郎市長を表敬訪問しました。

3人はパラオ共和国に9日間滞在し、パラオハイスクールで高校生と意見交換会をしたり、家庭訪問をとおりて文化や歴史などを学びます。このプログラムには小瀬高校生のほか、宮城県蔵王町などから合計12人の高校生が参加します。

※外務省が推進する「対日理解促進交流プログラム」として、将来を担う人材を育成する事業です。



▲パラオについていろいろな質問がありました

地域おこし協力隊がゆく



▲ファインダー越しの常陸大宮市を見つめています

地域おこし協力隊の古澤です。私は現在、写真を使ったまちおこしを模索していて、そのファーストプロジェクトとなる「この街に彩を…」に向けて準備をしているところです。せっかくの機会ですので、ここで企画の趣旨を紹介させていただき、皆さんにもご理解とご支援をいただければと思います。プロジェクト「この街に彩を…」は、常陸大宮市も例外ではない人口減少の傾向に向け、何かできることはないかと思考えたものです。人口の減少。それはつまり十人十色であるはずのこの街が八人八色、いや、六人六色と徐々に色をなくしていることと同義だということです。人口の減りゆく日本の中でこの街だけ十二人十二色と増やしていくことは難しいかもしれませんが、しかし、そんな薄れゆくこの街に少しでも色を与えたい。そんな発想のもと考えた企画がカラー写真を使ってこの街の色を増やしていくという方法です。「あなたが撮った1枚の写真がこの街を彩らせます。最高の1枚をぜひ常陸大宮へ」。

この企画が皆さんに少しでも興味を持っていただき、また、少しでもこの街が彩られるよう、頑張りたいと思います。企画の詳細が決まり次第、SNS などでお知らせしたいと思いますので、応援をよろしくお願いします。

スポーツ大会結果

(敬称略)

大会名：第15回市長杯野球大会

開催日：令和元年6月9日(日)・23日(日)
7月15日(月)

主催：市軟式野球連盟(菊池清一会長)

会場：大宮運動公園市民球場 他3会場

参加チーム：21チーム

優勝 不二クラブ

準優勝 CLUB ウイングス

第3位 スターダストキッズ・カバヤドリームス

最優秀選手賞 本田 龍也(不二クラブ)

優秀選手賞 藤田 徳大(不二クラブ)

敢闘賞 海老原 弘佳(CLUB ウイングス)

大会名：第28回ママさんバレーボール大会

開催日：令和元年7月21日(日)

主催：市バレーボール連盟(小野政樹会長)

会場：西部総合公園体育館

A グループ優勝：グルービー

B グループ優勝：ステップ

C グループ優勝：大場 VC

ひたまる先生を紹介します vol.22



▲大森清美さん

ガラスアート・タイルクラフトの教室をしている大森清美です。

ガラスアートとは、ステンドガラスのような輝きと美しさを楽しめる新しいクラフトで、素材となるガラス板に鉛でできたリード線と特殊なフィルムを貼って作ります。今は、テーマパークやテレビなどでも見かける機会が多く、人気になりつつあるクラフトです。ガラスアートの魅力と物作りを皆さんにも楽しんでいただきたくガラスアート教室をドルフィン交友館で開催しています。年齢、性別を問わず興味のある方は、体験教室も実施しています。また、タイルクラフト、ヘリテージデコ、アロマストーンは個人レッスンで受け付けています。興味のある方はお気軽にご連絡ください。

■問い合わせ■ 080-6678-4816

本年度新規採用職員を紹介します



御前山支所の鈴木啓太です。

私は主に住民票の写し等の交付や戸籍謄本抄本等の交付などの窓口業務、高齢者福祉、介護保険事業等を担当しています。自分の担当だけでなく皆さんの知識を身につけ、市民の皆さんの役に立てよう努めたいと思います。



緒川支所の桐原理恵です。

主に窓口業務で、皆さんが気持ちよく手続きができるよう笑顔で対応を心がけています。まだまだ分からないことが多く不安だらけの毎日ですが、少しでも早く市民の皆さんに頼られる職員になれるように自ら学び、素早く丁寧に業務をこなしていきたいです。

かがやきだより vol.15

常陸大宮市食生活改善推進員連絡協議会、通称「食改さん^{しょっかい}」の活動を紹介します。

食改さんとは、市の主催する食生活改善推進員養成講座を修了し、市長の委嘱を受けた方のことで、現在132人が活躍しています。「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、子供から高齢者まで各ライフステージに応じた健康づくりを目的に、食を通して日々ボランティア活動をしています。

食育キャンペーン

毎月19日は『食育の日』に合わせて、イオン常陸大宮店・ピサーロの店頭で食育キャンペーンを実施しています。(偶数月はエコス山方店でも実施) 来店された方に声掛けをして、パンフレットやポケットティッシュを手渡ししながら食育に関する情報提供をしています。

今回の活動に参加したのは美和地域と大宮地域の食改さん5人。夕方4時から5時にかけて西日が当たる暑い中、積極的に声掛けをしました。足早に来店された方でも、食改さんが声を掛けると立ち止まって、話に耳を傾けていました。

声掛けした方からは『塩分を控えている』『糖分を摂りすぎていたことに気付いた』など、健康に興味を示す声が増えてきたように感じます。10年以上継続して活動してきた成果でしょうか。嬉しいです。



その他の活動

＊食育講話と料理教室の開催（バランス食・郷土食・行事食など）

各地域で生活習慣病予防教室(成人対象)や親子クッキング(幼児や学童の親子対象)を実施しています。

＊市や地域文化祭など行事への協力

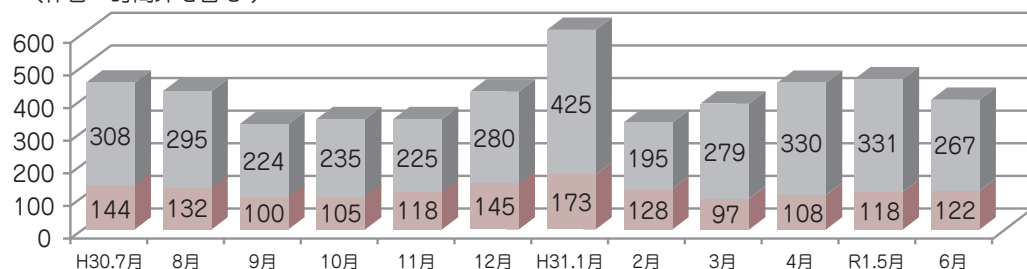
9月末のなぎなた国体では、選手や応援者に自慢のこんにゃく料理を振る舞います。

＊正しい食生活の知識を普及するため研修会に参加

県や市で開催される研修会に積極的に参加して食育に関する知識を高めています。

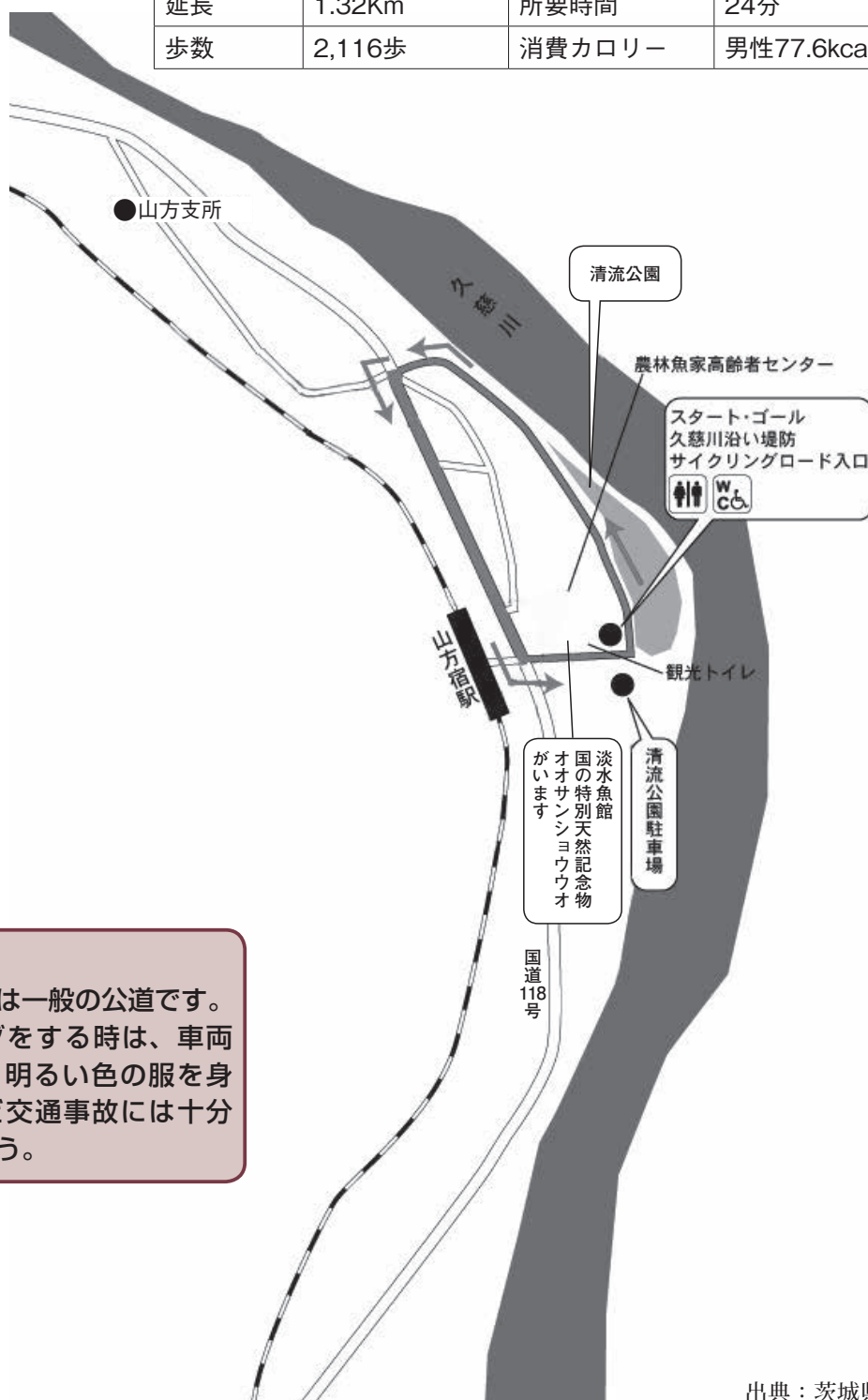
※救急受け入れの人数を
月別に表しています。
(休日・時間外を含む)

常陸大宮済生会病院救急患者受入状況





コース名	神奉地公園から久慈川せせらぎコース		
延長	1.32Km	所要時間	24分
歩数	2,116歩	消費カロリー	男性77.6kcal 女性63.9kcal



出典：茨城県ホームページ

ろくじさま 六字様

六字様 特長ある民俗行事

常陸大宮市域で8月に行われている年中行事に、六字様があります。緒川地域大岩や小舟の前屋・大貝、美和地域高部の大貝、三ツ木、東河戸、仲河戸などで伝承されてきました。

六字様の名称は「南無阿弥陀仏」、すなわち六字の名号に由来します。大岩、前屋・大貝、仲河戸などでは、六字名号を付した花飾りがつくられ、それを持って村回りをしたり、人々が参拝することが行なわれてきました。

前屋・大貝の六字様は、8月18日前後の日曜日に行われ、世話人たちが早朝から集落のセンターに集まって花飾りをつくります。世話人たちは花卉の形に切りだして縁を赤く染めた紙花を、「南無阿弥陀仏」「六字様」「病難除^{よけ}」と墨書した短冊とともに、しならせた割竹に結びつけていきます。花飾りの中央の柱には「南無阿弥陀仏」と墨書された行灯^{あんどん}を据えます。

かつては、完成した花飾りを担いで村回りをしましたが、近年は集落センターの庭に飾り置き、人々がお参りをします。夜には行灯に火がともり、紙花や短冊がほのかに照らされて、厳かな雰囲気となります。



民俗部会専門調査員 萩谷 良太 氏
(土浦市教育委員会)

花飾りの意味

さて、前屋・大貝の六字様では、花飾りに使用するそれとは別に、世話人たちが短冊3種と紙花をセットにして紙繕^{こよ}りに通したのもつくり、各戸に配布します。各家ではこれを玄関などに飾って、厄除けとします。隣接する大字高部の大貝では、同様のものを集落の入口（境界）に立てます。仲河戸では参拝を終えた人々が花飾りから花を外して持ち帰ります。この花を棒につけて畑に挿しておくとお虫がつかないそうです。

これらのことから、六字様でつくられる花飾りには、災厄をふせいで集落や家、畑などを守る護符としての意味があると考えられます。

六字様は市域の限られた地域にだけ伝承されてきた特長ある民俗行事です。この行事が成立した背景を探ることも、私たち民俗部会の課題のひとつです。



▲六字様の花飾り（前屋・大貝）



▲世話人たちによる花飾りづくり（前屋・大貝）

■問い合わせ■ 文化スポーツ課 文化・スポーツグループ
☎52-1111(内線344)

見守り 新鮮情報

大手電話会社の子会社を名乗る事業者から、「2020 年以降 **アナログ回線が廃止**される。今の電話が**使えなくなる**ので光回線に**切り替え**ないか」と電話がきた。不審に思い断ったが、この会社の言っていることは**本当なのか**。(70 歳代 女性)



固定電話が使えなくなる? IP 網への移行に便乗した勧誘に注意

ひとこと 助言

注意してね



- NTT 東日本とNTT 西日本(以下、NTT 東西)は 2024 年以降、固定電話の IP 網への移行に伴い電話会社内の設備の切り替えを予定しています。
- この設備切替に便乗し、固定電話や固定電話の番号が使えなくなる、といった勧誘文句で営業をする業者に注意しましょう。
- IP 網への移行後も現在使用中の電話機や電話番号はそのまま使うことができます。設備切替に伴う手続きや工事也不要です。
- よく分からなければその場で返事はせず、家族や周囲の人に相談しましょう。
- 不審に思ったら、お早めにお住まいの自治体の**消費生活センター**等(消費者ホットライン 188)、もしくは NTT 東西の固定電話の IP 網への移行に関する問い合わせ先へご相談ください。

NTT 東日本 0120-815-511

NTT 西日本 0120-190-022

【受付時間】午前 9 時から午後 5 時まで(12 月 29 日から 1 月 3 日までを除く)

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第342号(2019年7月9日)発行：独立行政法人国民生活センター

■問い合わせ■

茨城県消費生活センター

☎029-225-6445

常陸大宮市消費生活センター

☎0295-52-2185 (直通) (本庁商工観光課内)

※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



茨城四十五景 青麻三光神社

「茨城四十五景」をご存じでしょうか。

これは昭和10年（1935）、茨城新聞の創刊45周年記念事業の一つで、県内の景勝地を発掘、広く県内外に紹介することを目的としたものです。これが県内初の県民投票による景勝地の選定事業となりました。

常陸大宮市域では、青麻三光神社（下檜沢）、三浦杉（小田野）、宇留野台（宇留野）が選定されています。今回は、この中から青麻三光神社について紹介します。



▲青麻三光神社社殿

【神社の概要】

青麻三光神社は下檜沢の青麻山の山頂（395m）にある神社で、天御中主命（北極星の神）、大日靈貴命（＝天照大神、太陽の神）、月読命（月の神）、3柱の神様が祀られています。社殿は青いトタン葺きで一見新しく建てられた神社のように見えますが、この社殿内を見ると、小さな木製の社殿を確認することができます。また、境内の「敬神」と刻まれた記念碑にはこの神社の由緒が記されています。その碑によると、文政5年（1822）に村人小室善十が奥州の青麻三光神社（現仙台市の青麻神社）の分霊を小室家の氏神としてこの山に迎えたことで、この神社が建てられ、小児の虫切り（夜泣き、かんしゃく封じ）と中風除け（脳血管障害の後遺症除け）のご利益があることから近村の人々にも信仰され、春と秋に祭礼が行われていたようです。

【雲姥山神社】

境内には青麻三光神社の他に、雲姥山神社という小さな社殿があり、その後方には「雲姥山神霊」と刻まれた石碑があります。この石碑の裏面には「嘉永三庚戌年」（＝1850年）という年代が刻まれています。

記録によると、この神社の名称になっている雲姥山は青麻三光神社が鎮座する以前の青麻山の名称ですが、石碑の年代が青麻三光神社が鎮座した文政5年（1822）より後であり、なぜこの神社の名称に雲姥山が使われているのかは不明です。



▲青麻三光神社の茨城四十五景入選記念プレート

【茨城四十五景に選定】

冒頭で紹介しましたが、青麻三光神社は昭和10年（1935）に茨城四十五景に選ばれました。では、なぜこの神社は四十五景に選ばれたのでしょうか。同年8月15日付『茨城新聞』で四十五景候補地としてこの神社を紹介する記事では、この神社が候補地として選ばれた理由として、眺望が絶景であること（脚下に那珂・久慈両川、東に太平洋、西南に筑波山、日光山、富士山）、季節の景色が格別であること（春の鶯の声、秋の紅葉、冬の雪景）、古くより「中風除」「虫切り」の神として四季参詣者が絶えないこと、の3点を挙げています。この記事から、当時、青麻三光神社はとても見晴らしが良く、多くの人々に信仰され、親しまれていた場所であったことが窺えます。

茨城四十五景の選定では、この神社も含め154ヶ所が候補地として挙げられ、県民投票により上位45ヶ所が四十五景に選定され、同年9月2日付『茨城新聞』で発表されました。青麻三光神社は30位にランクインし、茨城四十五景に入選しました。その後、同年9月8日付『茨城新聞』には、青麻神社保勝会により、下小川駅から青麻山への登山道を新設し、青麻山の山頂に記念碑を建てたという記事が掲載されました。現在となっては、下小川駅からの登山道はどのようなルートだったのか不明ですが、記念碑は現在でも確認できます。この記念碑には四十五景入選記念として茨城新聞社から送られた「茨城四十五景 入選 青麻神社 創刊四十五周年記念 いはらき新聞社」とレリーフされた金属製の記念プレートがはめ込まれています。

参考文献

- 『美和村史料 茨城新聞』（美和村、2002年）
- 『茨城新聞百年史』（茨城新聞社、1992年）
- 『茨城県神社誌』（茨城県神社庁、1973年）

■問い合わせ■

文化スポーツ課

文化・スポーツグループ ☎52-1111（内線344）



9月1日は防災の日

9月1日は、関東大震災が発生した日であり、昭和34年9月26日の伊勢湾台風（全半壊・流出家屋15万3,893戸、浸水家屋36万3,611戸、死者4,700人、行方不明者401人、負傷者3万8,917人という当時戦後最大の被害）が発生したことが契機となり、地震や風水害等に対する心構えなどを育成するため、防災の日が創設されました。また、昭和57年からは9月1日の防災の日を含む一週間を防災週間と定め、各関係機関が緊密な協力関係のもとに、防災思想普及のための行事や訓練も行っています。

20代の「知っている」人は半数以下

防災の日を「知っている」と答えた20代は半数以下という結果となり、年代が若くなるにつれて防災の日の意識が薄れていることが分かりました。この日を契機に防災意識を高めて、日頃から災害に備えましょう。 出典：日本赤十字（http://www.jrc.or.jp/press/180829_005405.html）

家具の置き方を工夫していますか？

- ・家具は壁に固定し、倒れないようにしましょう。
- ・寝室や子供部屋にはできるだけ家具を置かず、出入口の家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ・手の届くところに懐中電灯やスリッパ、ホイッスルを備えましょう。



食料・飲料などの備蓄、十分ですか？

- 防災のためにと特別なものでなく、普段の生活の中で利用されている食品等を人数分備えましょう。
- ・飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
 - ・非常食 3日分（アルファ米などのご飯、ビスケット、チョコ、乾パンなど）
 - ・トイレットペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロなど
- ※大規模災害時には、「1週間分」の備蓄が望ましいとされています。

非常用持ち出しバッグの準備はできていますか？

- ・飲料水、食料品（カップ麺、缶詰、ビスケット、チョコレートなど）
 - ・貴重品（預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など）
 - ・救急用品（ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など）
 - ・ヘルメット、防災ずきん、マスク、軍手
 - ・衣類、下着、毛布、タオル
 - ・洗面用具、使い捨てカイロ、ウェットティッシュ、携帯トイレ
- ※乳児のいる家庭は、ミルク、紙おむつ、ほ乳びんなども用意しておきましょう。



家族同士の安否確認、決まっていますか？

- ・災害用伝言ダイヤル「171」
局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。
- ・災害用伝言板
携帯電話やPHSからインターネットを使って文字情報を登録し、自分の電話番号を知っている家族などが情報を閲覧できます。

避難場所や避難経路、確認していますか？

災害が発生したときに冷静に避難するためにも、市ホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップ、ハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。



台風に備えた家族と私のタイムライン

地震などの災害は、突然発生するので備えにも限界があります。しかし、台風は天気予報など事前に把握することができます。その利点を活かして、これからの台風シーズンに向けて、どのように準備し対応していくか家族と話し合いましょう。

タイムラインの概要

- 3日前「避難場所・避難路の確認」「家や周囲の点検」
 - 2日前「近所との連絡方法確認」「買い出し、非常用持ち出し品の確認」
 - 1日前「避難に時間がかかる家族の避難開始」
 - 12時間～数時間「家族全員の避難開始」
- ※このタイムラインは、台風接近時の最低限の行動をまとめた対策例です。ご家庭の事情に合わせて活用しましょう。

台風に備えた家族と私のタイムライン ©CeMI

災害発生・台風最接近（0時間）までの時間	行動	祖父母	父	母	子供
3日前 	気象・台風情報の収集	○	○	○	
	防災マップで避難場所・避難路の確認	○	○	○	○
	家や周りの点検	○	○		
2日前 	気象・台風情報の収集	○	○	○	
	隣近所との連絡方法などの確認	○		○	
	買い出し、非常持出し品の確認	○		○	○
	ベランダの片付け、雨樋や側溝の点検	○	○		
1日前 	河川水位情報・気象情報の収集	○	○	○	
	会社休業・学校休校の調整・確認		○	○	
	交通機関等の運行情報の確認		○	○	
	屋外にある物の飛散防止	○	○		
12時間～数時間前 	より安全な場所への早期避難	○	○	○	○
	気象・河川情報、避難情報の収集	○	○	○	
	マイカーの退避		○		
0時間	安全な場所へ避難開始		○	○	○
	避難（安全な場所）の完了、外出抑制	○	○	○	○

※ 祖父母と息子夫婦は別居暮らし。祖母が車椅子を使用しているため、早期避難を要する場合

家庭での台風対策のポイント

- ・普段から「いつ」「誰が」「何をするか」を家族で話し合っておきましょう。
- ・台風接近時は、話し合っておいた行動を、状況に応じて適切に行うよう心掛けましょう。
- ・状況を適切に判断するために、台風情報や気象、河川、避難勧告などの情報に注意しましょう。
- ・テレビ、防災無線、ホームページなど情報の収集手段を確認しておきましょう。
- ・避難に時間がかかる場合には、早めの避難を心掛けましょう。

■問い合わせ■ 消防本部 ☎54-0119



御前山ビオトープ周辺の植物等

林の縁などの日当たりのよいところに生えるつる性の半低木です。白い花びらのように見えるのは、十字形に開いたがく片です。花びらはありません。花が終わると果実の先が伸びて白くて長い毛をたくさんつけます。名前は、この白い毛を仙人のヒゲにたとえたものと言われています。

センニンソウ



(キンポウゲ科 センニンソウ属)
(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

市制施行15周年記念

合併からの15年を振り返って

本市は、今年10月16日で市制施行15周年を迎えます。この15年間の主な出来事を振り返ります。

常陸大宮済生会病院が開院（平成18年7月）

中核的病院がなかった当地域に、常陸大宮済生会病院が開院しました。二次救急医療やへき地医療に対応するとともに、地域の医療需要に対し、各医療機関との連携・機能分担を図りながら、安心・信頼される医療の提供が可能になりました。



市の花木鳥を制定（平成19年8月）

市の花「ばら」木「さくら」鳥「かわせみ」を制定しました。



市民憲章を制定（平成19年9月）

わたしたちがつくるまちの姿
— 常陸大宮市市民憲章 —

常陸大宮市は、緑豊かな自然環境に恵まれ、すばらしい歴史と文化のもとで発展してきました。わたしたちはこの自然、歴史、文化をいかし、安全で、快適で、活力あるまちを、みんなの手でつくりまします。

- 一、豊かな自然をいつくしみ、安らげるまちをつくりまします。
- 一、歴史と文化を大切にし、誇り高いまちをつくりまします。
- 一、一人ひとりが知恵を出し、暮らし、仕事、いのちが輝くまちをつくりまします。
- 一、さまざまな人たちとの出会いと交流が楽しめるまちをつくりまします。
- 一、尊重しあい、助けあい、みんなの未来をひらくまちをつくりまします。

いきいき茨城ゆめ国体なぎなた競技会

2019年9月29日（日）～

10月1日（火）

西部総合公園体育館



常陸大宮市の人口

（8月1日現在・推定常住者）

総人口 40,007人 世帯数 16,078世帯
（男 19,726人 女 20,281人）

広報 常陸大宮 8月 第179号

発行日 令和元年8月26日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail hishokou@city.hitachiomiya.lg.jp

URL <http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/>



再生紙と植物油インクを使用しています。